

いわふね杉材の用途と事例紹介

木材の持つ自然な断熱性と調湿効果により、快適な室内環境が得られます。また、特有の温かみや香りがリラックス効果をもたらし、柔らかで刺激の少ない触感が心身のやすらぎを提供します。

建築物 地域産材を利用促進するための助成金があります。詳細は村上市農林水産課にお尋ねください。



一般住宅（藤田亮建築設計事務所様）



道玄池いさいの森 森林公園 公衆トイレ



小町「みんなのトイレ」(村上信用金庫様)

木工・クラフト



「つみつきー」(WoodboxTera様)



木製積み木 (村上市森林組合様)



ノベルティ

土木工事



公園内木製階段

その他



「焚きスギ」(株大川屋製材所様)



料理の香り付け (割烹 新多久様)

知ってますか？ 新潟県北の地域資源

山と森林を守り 未来を支える いわふね杉

新潟県村上市・関川村で生産された杉材を
親しみを込め『いわふね杉』と呼んでいます。

発行 村上市農林水産課
TEL 0254-53-3368

企画・編集 林業関係次世代の集い



村上市農林水産課



@iwafunesugi



地域産材を利用すること

地域経済の活性化

地域産材を利用することは地域の林業や製材業、関連する職人や企業への支援となり、それは地域経済全体の活性化につながります。

輸送コストと環境負荷の削減

地域産材の使用で輸送距離が短くなると燃料消費を削減できます。輸送コストが削減されると同時に、CO²排出量も抑えられ環境負荷の軽減となります。

木材利用は地球にやさしい



光合成によって炭素を貯蔵した木を木材として使うことで二酸化炭素の大気中への放出を削減し、地球温暖化防止への貢献が期待されます。

さらに、木材は鉄やコンクリート等の資材に比べても製造・加工時に必要となるエネルギーが少ないのです。

木造住宅1棟に
貯蔵される
二酸化炭素量

||
約15t-CO²

普通自動車約5万km
走行分の排出量に相当

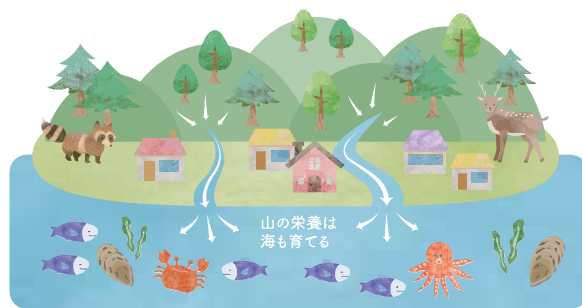
※延床面積100㎡

※1km走行当たりのCO²排出量:0.3kg-CO²/km



豊かな海を作る山

森林は蓄えた雨水を川を通じて少しずつ海へと流します。その際に流れ出る水は山の養分を含み、海の生態系にとっても貴重な栄養なのです。豊かな海のためにも森林整備は欠かせません。



たくさんある！ 森林の持つ役割

二酸化炭素の吸収と酸素の供給 生物多様性の保全
水資源の保全と水循環の調整 土壌の保護と浸食防止
特産林産物の供給 レクリエーションや憩いの場 … など

いわふね杉の特性



細かな木目

冬が長い雪国では木の成長も遅くなります。そのため木の年輪が細くなり、美しい木目が形成されます。これは、見た目の美しさだけでなく、木材の強度や耐久性にも貢献します。



しなやかで粘り強い

新潟特有の湿った雪が積もる村上・岩船地域は木にとっても過酷な環境ですが、その中で耐え育った杉材は、粘り強さと、しなやかさを備えています。



新潟県の森林面積約86万ha 森林率68%

素材生産量約16.4万㎡ ※R5年度

新潟県内における素材生産量※のうち
約3～4割がいわふね杉です。

※森林（針葉樹）の立木を伐採し、丸太を生産する工程



古くから利用されてきた杉材

地域産材は古くより利用されてきました。城下町村上には、地元の腕利き大工により建てられた築100年以上の町屋や武家屋敷、関川村にも歴史ある豪農の家が残っています。県北地域は漆塗りが盛んだったことから、宮大工が集まり、越後三大大工として数えられるような腕の良い大工集団が生まれました。

新潟県近代造林の礎

山北地区では、明治時代に杉の適地である事を見い出した富樫長吉氏によって造林が行われるようになりました。循環型林業による建築用の木材供給は、県内でも先駆けとなる取り組みでした。県北地域が現在見られるような杉の産地として成り立っているのは、当時から受け継いだ林業が礎となっています。